

# 自然の こころ

03  
2010.10

一般社団法人  
自然流(じねんりゅう)の会

[天然素材の家づくり]



Society of Natural Way of Life

## CONTENTS

### ■加盟工務店の施工例

### ■自然流の会 活動報告

◎セルローズファイバー工場見学

### ■加盟工務店の活動報告

◎ハウスニュームラ：事務所オープン

◎ハウスニュームラ：定期住宅セミナー

◎小林住宅工業：笑顔の写真展

◎小林住宅工業：親子工作教室

◎こもだ建総：ちびっこ工作広場

◎こもだ建総：包丁研ぎ

### ■理事長のご挨拶

### ■自然流の名工たち

◎第二回：植田 昇

### ■太陽の家近況報告

01

光と風が感じられるバルコニーと一体化したLDK。設計は、東西南北のどの方向からも風を通すことを意識し、心地よい風が通り抜ける空間を実現しました。



01 バルコニーと一体化したリビング

◎小林住宅工業

02

黒をアクセントカラーにした外観。純和風ではなく、ライトな感じで和のテイストを実現しました。アクセントカラーの黒は内装でも採用し、統一感が出るように工夫しています。



02 こだわりがつまった新築住宅

◎小林住宅工業

03

さわやかな林の中を歩いているイメージでつくったエクステリアから、格子の引き戸が趣きを演出する玄関へ。庇を設けているのが特徴です。

04

床はアカマツ。勾配天井には秋田杉を採用。自然素材をふんだんに使用した多目的スペースです。トップライトからやさしい光が入ってきます。



03 格子の引き戸の玄関

◎小林住宅工業



04 素足にやさしい無垢材の床

◎小林住宅工業

加盟工務店の建てた  
自然流健康の家を紹介します。

天然素材の



05

床材、天井材、階段、そして丸太の梁もすべて国産の杉無垢材を使用しました。テーブルも杉で、担当の大工さんの手作りです。

06

リビングを中心に吹き抜け、和室、中庭が一体となった開放的な空間。築8年の無垢材の経年美と漆喰の壁の美しさが映えます。

07

リビングを見下ろせる小窓は障子でつくり、あたたかさやゆわらかな印象をつくりました。

08

「和モダン」の家をご希望のお客様。伝統工法の「カキ落とし」の外壁で上質な家になりました。



05 床、天井、梁、階段。すべて国産の杉無垢材  
◎こもだ建総



06 開放感のある吹き抜けリビング  
◎こもだ建総



07 小さなお客さまの笑顔です！  
◎こもだ建総



08 伝統工法「カキ落とし」の外壁  
◎こもだ建総

# 家づくり



# 自然流の会 & 加盟工務店の活動報告。

みんな  
がんばって  
ます!

9月8日

## 自然流の会 「セルローズファイバー」の秘密を探る! 製造工場の見学に行ってきました。

いま注目の断熱材「セルローズファイバー」。自然流健康の家では標準仕様となっているので、現場では袋詰め状態でよく置いてありますよね。新聞紙を原料にした体に優しい断熱材ということは知っていても、新聞紙からどんなふうに使われているのか、実際のところ詳しくわかりません。その謎をさぐるべく、小林代表をはじめとする16名の会員が、東京周辺で唯一セルローズファイバーの製造を行っている王子製紙の子会社「王子製袋」の江戸川工場に行ってきました。一同、見学を終え、地球環境保全のための取り組みに感動し、あらためて素晴らしい断熱材だと確信しました。もっともっと多くの方にセルローズファイバーの理解を深めていただくため、次回はお客様向けの工場見学会も企画したいと思います!

■素晴らしい断熱材の秘密はコチラ!!

- ①原料は市場に出回っていない「綺麗な」新聞紙のみ。これを独自のノウハウで粉碎。
- ②成分は、新聞紙が80%、ホウ酸・ホウ砂・植物性油脂・麻の繊維が20%。
- ③製造過程で放出されるCO2は、石油化学断熱材に比べ、約300分の1。
- ④実質断熱効果は、高性能グラスウールと比べ約2倍高い。
- ⑤新聞紙を投入してから、製品が出来上がる時間は数時間と速い。
- ⑥経年劣化の検証をした結果、ほぼ半永久的に変化はない。
- ⑦製造後は、燃焼実験・くすぶり実験・撥水実験の抜き打ち検査を1日5回実施するなど、徹底した品質管理のもと出荷される。



9月1日

## ハウスニュームラ 新事務所オープン!

9月1日、創立30周年を機に新事務所を開業しました!場所は、寒川神社の西側100メートル。「自然流の家」の大きな看板が目印です。事務所入口では桐の丸太がお客様をお出迎えし、ホールとして使用する二階はドアに杉板、壁面には檜の半丸を使っています。裏にまわるとストーブ用の煙突もあり、全体的に暖かい雰囲気の建物となりました。ぜひ、立ち寄ってみてくださいね!



9月1日

## ハウスニュームラ 定期住宅セミナー 「自然の恵み・木の持つ力」開催

今回の講師は、「木」ひとすじ60数年の伊豆材木市場会長、井川進氏。たくさんある木の中でも日本人の生活に古くから根付いている「桐」を中心に、その良さや特徴など深く掘り下げた話が聞けました。たとえば、桐の持つ波長は人間の出す波長と同じだから肌触りに親近感がある、冷蔵庫に長時間置いても冷えない、傷がついたら濡れ雑巾とアイロンで補修できるなどなど…。当日の参加者は当社の「自然素材を使った木の家」に関心があるお客さまで、「木」に関する知識もそれなりにお持ちの方ばかりだったのですが、井川氏の長年の経験と知識から繰り出されるオリジナリティあふれる講義に、みなさん熱心に聞き入っていました。とにかく博学な方なので、今後いろいろ相談に乗ってもらおうかと思っています。





10月3日

## 小林住宅工業 天使の「笑顔の写真展」結果発表!!

全国からご応募いただいた60枚の「笑顔の写真」の中から、ついに3選が決定しました!

- ◎1選 横浜市 G様
- ◎2選 藤沢市 T様
- ◎3選 福岡県福岡市 H様

おめでとうございます!!

投稿して下さった皆様、投票して下さった皆様、写真を見て下さった皆様、本当にありがとうございました。

入賞した作品は、10/1～10/29まで当社ひなた山事務所のショーウィンドウに展示。事務所のお客さまのみならず、道行く人々も癒やしていました。来年の「笑顔の写真展」もお楽しみに～。



左上 1選 横浜市 G様  
上 2選 藤沢市 T様  
左 3選 福岡県福岡市 H様

8月22日

## 小林住宅工業 夏休み親子工作教室 大盛況!

今年の夏は類を見ない猛暑でしたが、約90名の参加で恒例の親子工作教室を開催しました。「工作キット」「竹工作」「千代紙工作」「塗り絵」「パイプ工作」の5種類から好きなものを選び、いざ作品づくりに挑戦! 優秀作品1等～3等と審査員特別賞3名には景品も出るので、それを目標に毎年参加して腕を磨いているお子さんもいます。今年の目玉は、なんと大工さん手作りの工具箱に本格的な工具一式が入った大工さんセット!これを機に、ものづくりの楽しさを多くの子どもたちに知ってもらえたらな…と思います。

8月22日、  
23日

## こもだ建総 毎年恒例!チビッコ工作広場を開催しました

27年前からずっと続いている恒例のチビッコ工作。親子2代で参加してくれるご家族もいます。27年前といえば、ファミコンが発売された年。その頃から、子どもたちが自分の手と頭を使ってモノづくりをすることが少なくなってきたように感じます。モノづくりの楽しさと木の素晴らしさを知ってほしい!という想い、伝わったかな?



6月5日

## こもだ建総 お客様感謝デー 「無料包丁研ぎ」が大好評

毎年6月と12月に、さいたま市内数か所で「お客様感謝デー」を開催し、無料包丁研ぎやまな板削りなどを行っています。捨てるはずだったモノがよみがえった!と地域の方々に喜んでいただき毎回大好評のこの企画。エコの精神と、木を大切に!という気持ちが届けばなによりです。そのほか、当社では家族で楽しむ「芋堀り大会」や「住まいのお手入れセミナー」などの各種イベントも実施しています。それらはまた紙面にてご報告します!





## 日本民族は長期性、未来性、 全体性に目覚めるとき。

日本の戦後は米の占領国家として何も無いところから立ち上がった。アメリカ主導の占領政策は政治経済、金融、医療、衣食住の分野に止まらず精神世界も含めて全ての分野に及んだ。

中でも金融、経済の分野は高度成長の名の下に何の疑いも無く突き進み世界でも抜きん出た豊かな国家が出現した、と思われたが、その付けともいうべき現象はこんにち日本の国土を覆う。倫理観を失った人心の乱れ、反動が平成の時代に入り一気に膿と成って噴出してきたのである。

病気、疾病、疾患、薬害、騒乱、殺害、傷害、自殺、事故、自然災害、環境被害の類、日々巷に騒がしくけたたましい。

隣国不穏の動きあるもわが日本民族は為すべきを知らず。ただいたずらに時を過ごす。

原爆投下被害は世界国家中で日本国のみ、人類平和、世界平和の祈願も虚しく響く今日であります。

時代は今すでに自分さえ良ければいい、と言う時代ではなくなってきているように感じます。

そのような状況の中ではありますが、一般社団法人「自然流の会」は環境に優しく、住む人に優しい住まい造りを御旗として掲げ設立されました。住居は命を守り、命を育む器で無ければならない。

住居はその時々を流行を追うようなものではなく、親子三代 100 年の計によって建設されなければなりません。(長期性)

住居は様々な時代を越えて存続し、良き伝統、良き文化、良き風俗を次の世代に継承してゆかなければなりません。(未来性)

住居は住む人を育て、住む人の健康を守り、衣食住全ての面で住む人の幸福を実現させる器で無ければなりません。(全体性)

私たちは住まい造りのみならず「衣(医療)食住」全ての分野において学ぶ集団と成ろう。

私たち建築人はそんな社会的使命を果たすために辛い修行に耐え数々の技能、技術を学び続ける職人集団です。そんな人に、そんな職人に、そんな会社に、なりたいと考えて日々の精進を行っています。私たちは住まい造りを通じて社会にそんな想いを呼びかけたいと考えております。

志を共有できる大工さん職人さんを初め農業、林業、飲食業、商業の方々多くの賛同者を募っております。

世界平和を願う、大徳寺音禅法要。高田官長の法要祈願が一日も早く到来することを祈ります。

地球振動起波瀾 (地球を振動して波瀾を起こし)

散宅破家<sup>さんたくは かかいしん</sup>帰芥塵 (散宅破家芥塵に帰す)

為奏鎮魂平穩事 (為に奏でる鎮魂と平穩の事)

万邦友愛<sup>ばんぱう</sup>共成隣 (万邦友愛<sup>となり</sup>共に隣と成さん)

(致知出版社 11 月号巻頭の言葉より)

平成 22 年 10 月 1 日

一般社団法人「自然流の会」代表理事 小林康雄



自然流の  
名工たち

【第2回】



今回は神奈川県で活躍中の植田さん！  
スポットを当ててみます。

安心・安全・快適な畳を追求し、国内外で活躍するエコロジー職人  
あんしんたたみルーム(有) 健康畳植田 代表

## 植田 昇

## ●植田さんのプロフィール

植田さんは、国内はもとより海外にも広く紹介されている日本初のエコロジー職人。全国の生産者・畳職人と共に、安全な畳を作るためのネットワークを立ち上げ、同時に農林水産省では畳・いぐさりレクゼーション効果の調査主任として科学的な調査も行っています。国内外での講演・勉強会・テレビ出演なども精力的にこなし、アメリカ、ヨーロッパのシュタイナー学校で日本文化交流講話、デモンストレーションを行うなど、日本職人活動・エコロジーについて高い評価を受けています。

その他、研究者・医学博士・学識経験者の連携により、環境に配慮した製品の研究・企画・開発を行い2003年9月には「若返る畳」ブランドを設立。文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞作の「若返る畳」の主人公のモデルにもなっています。

ちなみに人柄は基本的に明るく、誰でも気軽に話し、最近、体重が増えていることを少し気にされています。

## ●植田さんからのメッセージ

畳によるシックハウスやアレルギー…。これは畳が直接の悪いのではなく、原料となるい草に撒かれた農薬や防カビ剤などの化学物質が原因なのです。今の日本の畳は、原料となるい草の8～9割が中国産で輸送の間に防カビ剤を撒かれ、残りの国産においてもほとんど農薬が使われているのが現状です。

私たちが使うい草は、国内で無農薬・減農薬栽培している農家と直接契約し、そこで採れたもののみを使っています。また、畳床と畳表の間に敷くシートは自身で開発し、畳床を熱処理する乾燥機も作業場に用意。輸送や保管の際には化学物質が侵入しないよう全面アルミ加工した保管倉庫も準備しています。そうしてつくられた健康畳は、一般的な畳とは雲泥の差です。ぜひその違いを実感してみてください。

①琉球畳（カヤツリグサを使った本物です）の柔道畳を前に、契約農家で栽培の超低農薬畳と一般のスタイロ畳の違いについて語る植田さん

②カヤツリグサを使った本物の国産琉球畳表は、明治、大正、昭和初期には関東地方の約7割を占めていました。その理由は丈夫で長持ち、肌触りがよかったからで、その耐久性は伝統柔道畳の畳表としても使われており激しい稽古にも耐えたほどです。現代は青畳のいぐさが人気になりましたが、ひそかな琉球畳ブームによって本物の琉球畳も見直されつつあります

③昔ながらの手縫いに挑戦です。針が顔をのぞかせました。最近ではなかなか見られない様子なので皆さん釘付け!!

④柔道畳（130年前の復元品）の固さを実際に味わうセミナー参加者の皆さま。その感触は、柔らかくて、まるで布団みたい。その昔は座布団として使われていたことも。畳の奥徳は深いのです

## ●植田さんが講師を務めた「健康畳セミナー」の様子（8月7日 小林住宅工業主催）





## ◎自然流(じねんりゅう)の会とは

自然流の会はいわゆる工法の会でもなく、機械や設備を使った強制換気システムを謳った会でもなく、古来から続く技術の上に、建築基準法はもとよりその基準値を高いレベルでクリアした建物を徹底的に自然素材にこだわって建てるという思想であり、その考えをもった人たちが会を構成しています。

家づくりを「いのち」・「平和」・「自然」という見地から捉え、地域社会、人類、世

界に貢献していくという理念を持った「地域工務店の会」が自然流の会です。

自然流の会が目指す「自然素材・天然素材で本物の家づくり」は、化学物質万能の世の中において、自然素材のみでの家づくりへの挑戦です。正に現代社会において歯車を逆に回すような困難さともなう家づくりではありますが、勇気をもってその事業実現に向かって挑戦してまいります。

自然の  
ところ

03

2010.10

TAIYOU NO IE TSUSHIN

## 自然流本部 自然の郷「太陽の家」から

飛騨高山はもうすっかり秋の風景になりました。今年は猛暑続きで、山のドングリが少なくクマとかイノシシ、タヌキ、アナグマが冬眠まえの腹ごしらえをしようと、農作物を食い荒らしてかなりの被害が出ています。農園でも金網を畑に張り巡らしたりして対処におわれています。人間が檻の中で生きてゆかなければならない時代になったのでしょうか？クマの出没は毎日です。近年猟師がいなくなって、おまけに環境省でト殺頭数も制限され、いったんワナで捕まえたクマもまた山へ放すという繰り返しです。昨日、隣の爺さんが玉ねぎを植えているその近くの栗の木

にクマが登って食べていたそうです。

さて、太陽の家では花と麦を蒔いたくらいだったので今のところ獣の被害はありませんでした。ただ、今年植えたブルーベリーの味を覚えられると、やってきそうです。こちらは今、標高2,000メートル位が紅葉の盛りです。太陽の家があるのは標高1,000メートルですので、あと10日位で紅葉のピークになると思われます。また皆さんのお越しをお待ちしております。

自然流の会 太陽の家  
館長 大下宣夫



### ■本部・支部所在地

#### ●本部

〒506-2251

岐阜県高山市丹生川町大字旗鉾字月出 249-5  
太陽の家

#### ●埼玉支部

〒337-0033

埼玉県さいたま市見沼区大字御蔵 797-2  
株式会社 こもだ建総内  
TEL: 048 (684) 8888  
FAX: 048 (685) 7650

#### ●東京支部

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 1-14-14-204  
有限会社 槐 建築設計事務所内  
TEL: 03 (3470) 0095  
FAX: 03 (3470) 6036

#### ●神奈川支部

〒246-0034

神奈川県横浜市瀬谷区南瀬谷 2-2-20  
株式会社 小林住宅工業内  
TEL: 045 (303) 1230  
FAX: 045 (303) 1435

### ■運営事務局

#### ●一般社団法人自然流の会 事務局

〒178-0064

東京都練馬区南大泉 5-18-19  
TEL: 03 (3925) 0065  
FAX: 03 (3925) 0061

